

下顎頬側裂開型骨欠損モデルにおける 縫合法と縫合位置の検討



頬側骨に欠損がある場合

【抜歯創中央部での単純縫合】



頬側面観



咬合面観

骨の裏打ちがない部位での単純縫合は歯槽堤の狭窄を招く恐れがある。

【クロスして単純縫合】



骨の裏打ちのを利用することで頬側骨幅の維持が期待できる。